

第 15 回伊那新校再編実施計画懇話会

日時：令和 5 年 5 月 26 日（金）

18 時～19 時 30 分

会場：長野県伊那合同庁舎 講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 会議事項

- (1) 上伊那広域連合等からの要望の報告
- (2) 第 14 回伊那新校再編実施計画懇話会まとめについて
- (3) 伊那新校での学びについて
- (4) NSD プロジェクトの進捗状況について
- (5) 意見交換

4 その他

次回伊那新校再編実施計画懇話会（開催日時等は、改めて連絡）

5 閉 会

第15回 伊那新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

○印 令和5年5月からの構成員

	区分	氏名	所属等
1	自治体	伊藤 徹	伊那市 副市長
2		片桐 健	飯島町教育委員会 教育長
3		本多 俊夫	駒ヶ根市教育委員会 教育長
4		田中 章	上伊那広域連合 前事務局長
5		○唐澤 直樹	上伊那広域連合 事務局長
6	産業界	田畑 和輝	伊那商工会議所 監事
7		春日 俊也	駒ヶ根商工会議所 副会頭
8		黒河内 貴	株式会社仙醸 代表取締役社長
9	学識 経験者	○片山 茂	信州大学農学部 副学部長
10		高橋 百合子	長野県看護大学 小児看護学講師
11	地域	河野 宏	一般社団法人上伊那医師会 長野県学校医委員会委員
12		中山 佳代	元上伊那地域の高校の将来像を考える協議会 委員
13		○布山 澄	上伊那地域振興局 局長
14	同窓会	山田 益	伊那北高等学校同窓会 運営委員会委員長
15		下島 典子	伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 会長
16	P T A	○善積 峰子	伊那北高等学校 P T A 副会長
17		○藤木 英美子	伊那弥生ヶ丘高等学校 P T A 副会長
18		○林 英之	上伊那 P T A 連合会 会長
19	学校 関係者	○袖山 秀明	上伊那小学校長会 会長 (辰野町立辰野西小学校長)
20		○齊藤 博	上伊那中学校長会 会長 (宮田村立宮田中学校長)
21		○原 潤	伊那養護学校 校長
22	統合校 関係者	改野 瑛士	伊那北高等学校 生徒代表
23		坪木 文佳	伊那北高等学校 生徒代表
24		有賀 希	伊那北高等学校 生徒代表
25		宇治田このか	伊那北高等学校 生徒代表
26		滝田 大和	伊那弥生ヶ丘高等学校 生徒代表
27		北原 萌七	伊那弥生ヶ丘高等学校 生徒代表
28		阪下 颯	伊那弥生ヶ丘高等学校 生徒代表
29		○鈴木修一朗	伊那弥生ヶ丘高等学校 生徒代表
30		埋橋 浩	伊那北高等学校 校長
31		山岡 久俊	伊那北高等学校 教諭
32		松村 明	伊那弥生ヶ丘高等学校 校長
33		唐澤 功	伊那弥生ヶ丘高等学校 教諭

事務局

伊那北高等学校		伊那弥生ヶ丘高等学校		高校再編推進室	
倉澤 克弥	(教頭)・事務局長	佐々木 俊秀	(教頭)・副事務局長	中島 秀明	主幹指導主事
山岡 久俊		唐澤 功		田中 聡	主任指導主事 (伊那新校担当)
倉石 典広		春日 雅博		原 多恵子	主任指導主事 (伊那新校副担当)
桐生 祐治		竹松 ゆかり			
齋藤 仁美		常田 真由美			
		瀧澤 洋貴	I C T 担当		

第14回伊那新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時・会場	令和5年(2023年)1月31日(火) 18時00分~19時30分 長野県伊那合同庁舎講堂
出欠席	懇話会構成員27名出席、欠席者なし 事務局(高校再編推進室:山岸主幹、田中主任指導主事、石井主事、 施設係:塩川主任、倉澤主事、伊那北高校4名、伊那弥生ヶ丘高校4名)
傍聴者	傍聴12名(オンライン含む)、報道4社
会議事項	(1) 第13回伊那新校再編実施計画懇話会まとめについて (2) NSDプロジェクトの進捗状況について (3) 意見交換
当日資料	第13回懇話会次第、第14回伊那新校再編実施計画懇話会構成員名簿、第13回懇話会まとめ、 懇話会グループ討議での意見、NSD会議設置要綱、NSD会議構成員、 NSDプロジェクト策定スケジュール、会場配置図、意見交換ワークシート

主な内容(意見及び発言)

プレゼンテーションに賛同する点、しない点

【賛同する点】

- 地域木材を利用した校舎、ZEBによる教育空間はよい。
- 地域とのかかわりをたいせつにするところ。
- 大きな職員室があり教員がまとまっていてくれるところ。
- 探究スペースは対面でのコミュニケーションを促進できてよい。
- 自然のエリアや散策路は、地域と深く関わったりコミュニティー等の構築したりする上で賛同できる。
- ワークショップ等地域や関係者の意見を広く取り入れながら進めるスタンスはよい。
- 平屋の校舎はユニバーサルデザインの観点からは賛同する。
- 新しい形(通路の使い方)などよい。

【賛同しない点】

- 平屋の提案は校地の狭さの点から賛同できない。文化祭等で活用する校庭が削られる面も賛同できない。
- 「ビルのような校舎は大学等でよい」という考え方。
- 校門から校舎までが遠いところ。
- 職員室か、研究室か、教職員の居場所は研究する必要がある。

現段階で校舎建築に要望したいこと

- ICT環境の充実。特に、WEBを使って講演を聞ける施設や講演ができる講義室(大教室)の設置。
- 機能的な図書館の設置…自習や空き時間を自由に利用したり、一息つけたりするスペースが必要。
- 先生と生徒が関わりやすい校舎。先生や生徒にとって使いやすい校舎。日の光が入る明るい校舎。
- ホームルームのスペース。荷物が置けるロッカースペース等。
- セキュリティの面から、1階はオープン的、2階は学びを前面に出した機能的なスペースをバランスよく。
- 教室間の移動がコンパクトで済む校舎。分棟でなく、つながった校舎。
- 対面での活動が一層大事になるので、利便性が高く、大勢が集まれる共有スペース。
- 2階以上とするなら、バリアフリーの観点からエレベータを作ることが必要。
- 地域や保護者と学校の距離を近づけるために、十分は広さの駐車場の確保。
- 売店の設置。
- トイレの十分な確保。
- 庭や自転車置き場等の外のスペースが少ない。
- 新しい学習空間に対する事前知識が不足しているので、先進事例の報告や他校の視察等の機会が必要。

「伊那新校（仮称）に関する要望書」について

高校再編推進室

令和5年4月21日（金）に、阿部守一県知事、内堀繁利教育長宛に、下記団体から「伊那新校（仮称）に関する要望書」が提出されました。

【要望団体】

- 上伊那広域連合
- 伊那商工会議所・駒ヶ根商工会議所・長野県商工会連合会上伊那支部
- 上伊那市町村教育委員会連絡協議会

【要望の概要】

<上伊那広域連合、伊那商工会議所・駒ヶ根商工会議所・長野県商工会連合会上伊那支部>

- 1 地域住民や商工団体等との協働による学校づくりの推進
- 2 上伊那8市町村との協働による、新校へのハイレベルな教育の仕組みの導入
- 3 伊那市が推進する新たなまちづくりへの県による積極的な支援

※3の項目は、知事宛の要望のみ

<上伊那市町村教育委員会連絡協議会>

- 1 地域住民や商工団体等との協働による学校づくりの推進
- 2 上伊那8市町村との協働による、将来の夢につながる進路が叶う新校の実現
- 3 伊那新校に関するわかりやすい情報提供



長野県教育委員会教育長
内堀 繁利 様

上伊那広域連合

広域連合長 白鳥 孝



伊那新校（仮称）に関する 要 望 書

〔関係市町村〕

伊那市長	白鳥 孝
駒ヶ根市長	伊藤 祐三
辰野町長	武居 保男
箕輪町長	白鳥 政徳
飯島町長	下平 洋一
南箕輪村長	藤城 栄文
中川村長	宮下 健彦
宮田村長	小田切 康彦

令和5年4月21日

上伊那広域連合

要 望 書

日頃より上伊那地域の教育の発展のため、また昨今の重要な課題の一つであります「高校再編・整備計画」につきまして、格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

上伊那地域全体の高校配置については計画が進められているところでありますが、その中で「伊那新校（仮称）再編実施基本計画」は、令和4年2月の長野県教育委員会定例会において決定され、令和4年3月に長野県議会の同意を得て示されました。

当該計画では、伊那新校の学びのイメージを、「地域と大学、研究機関等との協働した探究を核とし、個別最適な学びを実現する『自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校』を構想する。」とし、「伊那新校の学校像」が示されています。

しかしながら、伊那新校の学校像を実現するための方針が地域住民等に十分に理解が深まっていない現状があります。

つきまして今回は、「伊那新校（仮称）再編実施基本計画」で示された伊那新校の学校像を実現するために、次の事項について、更なるご配慮を賜りますようお願いいたします。

要 望 事 項

1. 地域住民等への説明と意見聴取について

伊那新校の学校像を実現するため懇話会を開催していただいているところではありますが、伊那新校と協働することになる地域住民や大学、研究機関、さらには商工団体や地元企業等と、具体的な議論を進めていただき、これらの団体・組織と協働で新しい学校づくりに取り組まれるよう要望します。

2. ハイレベルな教育の仕組みの導入について

長野県教育委員会では、併設型中高一貫校は県内2校の充実に努めるなどとして新設は考えていないようですが、生徒が他地区へ流出することなく、ハイレベルな学びを実現することが大切です。

伊那新校への中高一貫校の導入が難しいようなら、伊那新校を、地域で活躍する人材の育成とともに、医師、弁護士、公認会計士等の資格取得を目指す学生を輩出する高校とするよう要望します。

それを実現するため、次の項目について上伊那8市町村と共に検討を進めていただきたい。

- (1) 医療、法律、環境、エネルギー、農林業、SDGs等多様なことを学ぶことができる教育課程の検討
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- (3) 県内で最高レベルの進学校とするため、優秀な教員の確保
- (4) ふるさと教育により、地域のことを理解し、地域のリーダーの育成を図るとともに、グローバルな視野を持った生徒を輩出するため、外部からの講師の招聘等の仕組みづくり
- (5) 大手予備校との連携などによる学力の向上
- (6) 長野県外からも生徒が集まる高校とするため、学生寮などの環境整備
- (7) SDGsに基づき、クリーンエネルギー、CO2削減などに配慮した校舎

長野県教育委員会教育長
内堀 繁利 様



上伊那市町村教育委員会
連絡協議会 会長
北原 秀 様



(関係市町村教育委員会)

伊那市教育委員会
教育長 笠原 千俊

伊那新校（仮称）に関する

要 望 書

駒ヶ根市教育委員会 教育長 本多 俊夫

辰野町教育委員会 教育長 宮澤 和徳

箕輪町教育委員会 教育長 小林 久通

飯島町教育委員会 教育長 片桐 健

南箕輪村教育委員会 教育長 清水 閣成

中川村教育委員会 教育長 片桐 俊男

宮田村教育委員会 教育長 加藤 孝志

辰野町塩尻市小学校組合教育委員会
教育長 宮澤 和徳

令和5年4月21日

上伊那市町村教育委員会連絡協議会

要 望 書

2 生徒の夢につながる質の高い伊那新校の教育の実現について

上伊那地域には、例えば中高一貫校がないことから、早い時期から他の地域の学校に進む子どもが多い現状があります。高校の再編により、上伊那の子どもが上伊那の高校で学び、体験し、生活することを通し、その子の可能性いっばい成長し、その子の将来の夢につながる進路がかなう高校教育の実現を願います。

そこで、伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校の統合により生まれる伊那新校については、次の内容について、上伊那 8 市町村と共に検討を進めていただくよう要望します。

(1) 生徒が、探究的に学び、願う進路を実現できる力を身に付けられる伊那新校の教育の実現

- ① 生徒に、質の高い教育を保障する教員配置の充実
 - ② 生徒に、医学をはじめとする先端性の高い諸科学等の学びにつながる学力を付ける柔軟で魅力ある教育課程の編成
 - ③ 生徒に、探究的な学びを通し、郷土への思いを深めるとともに世界に視野を広げるよう促し、伸びる力を伸ばす機会を保障する外部講師等の招聘・活用
 - ④ 生徒に、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に具現する施設・設備や指導者の配置の充実
- (2) 上伊那以外の地域からも生徒が集まり、充実した学びができる寮等の施設や設備の整備

(3) SDGs に基づく、多様性やクリーンエネルギー、CO2削減等に配慮した校舎の構造、施設や設備の整備

3 伊那新校について、ホームページやリーフレット等の活用により、児童や保護者、市民や小中学校の関係者等への分かりやすい情報提供に努めていただくよう要望します。

日頃より上伊那地域の教育の発展のため、また昨今の重要な課題の一つであります「高校再編・整備計画」につきまして、格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

上伊那地域全体の高校配置については計画が進められているところでありますが、その中で「伊那新校（仮称）再編実施基本計画」は、令和 4 年 2 月の長野県教育委員会定例会において決定され、令和 4 年 3 月に長野県議会の同意を得て示されました。

当該計画では、伊那新校の学びのイメージを、「地域と大 学、研究機関等との協働した探究を核とし、個別最適な学びを実現する『自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校』を構想する。」とし、「伊那新校の学校像」が示されています。

しかしながら、伊那新校の学校像を実現するための方針が地域住民等に十分に理解が深まっていない現状があります。

つきまして今回は、「伊那新校（仮称）再編実施基本計画」で示された伊那新校の学校像を実現するために、次の事項について、更なるご配慮を賜りますよう要望いたします。

要 望 事 項

1 地域住民等への説明と意見聴取について

伊那新校の学校像を実現するため懇話会を開催していただいているところでありますが、伊那新校と協働することになる地域住民や大学、研究機関、さらには商工団体や地元企業等と、具体的な議論を進めていただき、これらの団体・組織と協働で新しい学校づくりに取り組まれるよう要望します。



長野県教育委員会教育長
内堀 繁利 様

伊那新校（仮称）に関する 要 望 書

伊那商工会議所

会頭 唐木



和世

駒ヶ根商工会議所

会頭 福澤



秀宏

長野県商工会連合会上伊那支部

支部長 鷹野



力

令和5年4月21日

伊那商工会議所・駒ヶ根商工会議所

長野県商工会連合会上伊那支部

要 望 書

2. ハイレベルな教育の仕組みの導入について

長野県教育委員会では、併設型中高一貫校は県内2校の充実を図るなどとして新設は考えていないようですが、生徒が他地区へ流出することなく、ハイレベルな学びを実現することが大切です。

伊那新校への中高一貫校の導入が難しいようなら、伊那新校を、地域で活躍する人材の育成とともに、医師、弁護士、公認会計士等の資格取得を目指す学生を輩出する高校とするよう要望します。

それを実現するため、次の項目について上伊那8市町村と共に検討を進めていただきたい。

- (1) 医療、法律、環境、環境、エネルギー、農林業、SDGs等多様なことを学ぶことができる教育課程の検討
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- (3) 県内で最高レベルの進学校とするため、優秀な教員の確保
- (4) ふるさと教育により、地域のことを理解し、地域のリーダーの育成を図るとともに、グローバルな視野を持った生徒を輩出するため、外部からの講師の招聘等の仕組みづくり
- (5) 大手予備校との連携などによる学力の向上
- (6) 長野県外からも生徒が集まる高校とするため、学生寮などの環境整備
- (7) SDGsに基づき、クリーンエネルギー、CO2削減などに配慮した校舎

日頃より上伊那地域の教育の発展のため、また昨今の重要な課題の一つであります「高校再編・整備計画」につきまして、格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

上伊那地域全体の高校配置については計画が進められていますところですが、その中で「伊那新校（仮称）再編実施基本計画」は、令和4年2月の長野県教育委員会定例会において決定され、令和4年3月に長野県議会の同意を得て示されました。

当該計画では、伊那新校の学びのイメージを、「地域と大学、研究機関等との協働した探究を核とし、個別最適な学びを実現する『自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校』を構想する。」とし、「伊那新校の学校像」が示されています。

しかしながら、伊那新校の学校像を実現するための方針が地域住民等に十分に理解が深まっていない現状があります。

つきまして今回は、「伊那新校（仮称）再編実施基本計画」で示された伊那新校の学校像を実現するために、次の事項について、更なるご配慮を賜りますよう要望いたします。

要 望 事 項

1. 地域住民等への説明と意見聴取について

伊那新校の学校像を実現するため懇話会を開催していただいているところですが、伊那新校と協働することになる地域住民や大学、研究機関、さらには商工団体や地元企業等と、具体的な議論を進めていただき、これらの団体・組織と協働で新しい学校づくりに取り組まれるよう要望します。